

心温まる、命の輝きを感じる2学期の出来事

2 5 1 2 2 3

この2学期は、合唱コンをはじめ、様々な活動を通して、クラス、学年、全校が一つになり、大きく成長していきました。そのなかで起きていた、幸中生の心温まる出来事を紹介します。

さらに、2学期にはこんなこともありました。3年生の複数の男子生徒が、地域のお年寄りの方が家の扉が開かず、中に入れずに困っていたので力を貸してあげて、入れるようにしてあげたそうです。そのお年寄りの方が、とても感謝され、お礼にとお金を渡してくれ、一旦は受け取ったそうです。しかし、やはりお金を受け取るわけにはいかないと、その子たちは学校に相談しに来ました。学年の先生たちと相談し、その方にお金をお返しするということがありました。困っている方をほおっておかず、自分たちにできることで力になる行いは、とても尊いことで、素晴らしい行動でした。そのお年寄りの方にとっては、家に入れずに途方に暮れていた時に助けてくれた幸中生は、ヒーローだったのだと思います。さらにそういった善意の行動でお礼をもらうわけにはいかないと考える判断力も素敵だと思いませんか。心温まる、命の輝きを感じる出来事でした。

心温まると言えば、友達の、先生の誕生日をお祝いし合うという話もよく耳にします。私の誕生日にも多くのみなさんが声をかけてくれて、とても幸せな気持ちになりました。命が生まれた日を祝うという雰囲気は幸田中学校にあることを嬉しく、そして誇りに思っています。(R7年度2学期終業式 式辞より)